

第二地連新聞

第二地連宿泊学習会



任 長	議 員	責 任	行 政	発 行
任 部	宣 教	責 任	地 連	地 連
掃 合	清 組	地 連	京 働	東 労
連	地	地	二	第
2024年10月18日 第91号				

9月28日(土)～29日(日)にかけて埼玉県さいたま市「マロウドイン大宮」で5年ぶりとなる地連宿泊学習会を開催しました。

学習会には、お忙しい中、本部より渡辺書記長・泉田常任が参加して下さいました。

当日は、坂部副議長の司会進行で始まり、地連を代表して原田議長より春闘を含めた情勢報告・確定闘争の取り組みについて挨拶を頂きました。

講演では、本部の渡辺書記長より、「人事院勧告を踏まえた、2024賃金確定闘争の課題等について」講演を頂きました。勧告の



概要ということで、情勢についてふれて頂きました。手当の部分では扶養手当と地域手当に重点を置き説明を受けました。また、東京清掃における2024賃金確定闘争の課題について

① 公民較差の問題
② 高齢層職員の賃金改善
③ 人材確保・65歳まで安心して働き続けられる賃金・人事制度を中心とした話を頂きました。他支

部の仲間との交流・自己紹介を入れながら、充実した交流を行うことができました。

2日目は各支部代表者より「2024年度予算人員闘争総括」を報告して頂きました。この間、各区における「清掃事業のあり方」や「財政方針」により、清掃事業運営の厳しさが増している中、各支部とも厳しい闘いを強いられられている現状、直営の必要性、必要な人員(新規採用)をしつ

かり取っていく重要性、若い組合員が安心して定年まで働ける職場環境について課題や問題点を報告し合い共有することができました。

今学習会には、多くの青年部の仲間が参加して下さいましたので、会場を分けて問題提起・青年部フリートークと討議をおこないまし

問題提起では、文京区の松澤中央執行委員より「23区清掃事業の状況と抱えている問題」について提起を受けました。

① 現業労働者の組織状況
② 関連法について(プラスチック資源循環促進法・働き方改革関連法)
③ 23区清掃事業の状況について(ごみ量の算出にかかる調査票・各区作業計画の特徴点・プラスチック回収事業について・清掃職員の年齢構成・2024年度採用予定者数の状況)
④ その他の問題(首都直下型地震等の災害廃棄物計画・雇上会社と労働者供給事業の現状・清掃工場の老朽化と委託)について提起を頂いた後、各支部より質問・問題点を出し合い課題を共有することができました。

青年部フリートークでは青年部役員を中心に①魅力ある人事とは②今の賃金についてどう思っているか③不安に思っていること④組合活動に興味を持

っていただくには
⑤青年部レク活動でやっていただきたこと等、意見交換を行いました。

終了後、全体会の中で青年部報告を青年部第二地連鈴木議長よりフリートークで話し合いをおこなった内容について報告を頂きました。

その後、東海林事務局長より2日間の全体集約がされ、原田議長の団結ガンバローで集会を終了してきました。

宿泊学習会の参加者は全体で36名でした。

参加して下さいました仲間のみなさん大変お疲れ様でした。

(東海林事務局長)

【参加者感想】

今回、大宮で行われた第二地連一泊学習会に参加して、官民の格差や公務員としての清掃職場の魅力について深く考える機会を得ました。

まず、官民格差についてですが、公務員と民間企業では働き方や待遇に大きな違いがあることを

改めて実感しました。特に公務員は安定した職場環境と福利厚生が整っており、生活の基盤がしっかりとしていて一方で、民間企業は成果主義や競争が激しい面もあり、それが賃金や昇進の差となって表れることが多いです。この違いを理解しながら、自分に合った働き方を考えることが大切だと感じました。

また、清掃職場の魅力についても改めて知ることができました。特に、定時に職務を終えて帰れることが多く、ワークライフバランスが取りやすいという点が非常に魅力的です。職務が終われば、家族や友人との時間をしっかりと確保できたり、趣味や自己研鑽の時間に充てることができるため、プライベートが充実しやすい環境だと感じました。忙しさやストレスに追われることが少なく、安定した生活リズムを保ちながら働けることは、精神的な健康にもよい影響を与えると感じました。

今回の一泊学習会を通

じて、公務員としての清掃職場が提供する安定した労働環境や、プライベートの充実を図れる魅力に気づきました。このような職場環境は、長期的なキャリアを考える上でも非常に有利な選択肢の一つだと感じました。

(台東支部 今田啓人)

今回初めて宿泊学習会に参加しました。

各支部の職員の方たちと交流することが出来てとても楽しかったです。各支部で新人が多く入ってきていて組合活動が活発化している印象を受けました。2日目で青年部のみで様々な議題でフリートークしたことで交流が深まりました。学習会に参加したことでもっと積極的に組合活動に取り組み、労働環境をより良いものに変えていきたいと思いました。

次回もぜひ参加したいです。

(文京支部 鈴木鳳人)

久しぶりに第二地連一泊学習会に参加させていただきました。

当日は、本部より渡辺書記長より「人事院勧告を踏まえた、2024賃金確定闘争の課題」について講演を受けました。

人材確保の問題や今確定闘争のポイントになる部分について話が聞けたことが、とても勉強になりました。私自身、高年層職員の賃金改善については喫緊の課題だと思っています。

2日目の「予算人員闘争総括」では各支部の交渉の状況や課題・問題点を聞くことができました。

今回、参加して多くの課題について共有することができ、2日間有意義な学習会をありがとうございました。

引き続き、支部の中で執行部の皆さんと協力し、安心して働ける職場環境・労働条件の改善に向け、職場からの運動に取り組んでいきたいと思っています。

参加された第二地連の仲間の皆様、ありがとうございました。

(荒川支部 金子雅和)

今回5年ぶりに開催となつて初めて参加させていただきました。

1日目は、人事勧告を踏まえた2024賃金確定闘争の課題について本部の渡辺書記長に講義をしていただきました。講義を受けて他人事ではなく自分の今後の賃金に係わるという事が改めて思うようになりました。その後、交流会があり普段話さない支部の人たちや自分たちの先輩方ともお話ができた良い経験になりました。

2日目

は、各支部の報告や二十三区が抱えている問題のディスカッションがありました。

新規職員の獲得の現状や辞退者や辞めてしまふ若年層が多いという現状を学ぶことができました。



その後、執行部と青年部と別れてフリートークを行いました。他の支部の青年部が不安や不満に思っていることを話し合い自分とは違うことを考えてたり思ったりと知ることができました。

最後は、全体集約をして団結ガンバローをして終わりました。

初めての宿泊学習会に参加してとても良い経験になったと感じ、今後の活動に活かせればと思います。

(北支部 古川満久)